

公表

事業所における自己評価総括表（放課後デイ）

○事業所名	放課後デイサービス デザイン			
○保護者評価実施期間	令和8年3月10日 ～ 令和8年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和8年4月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が安心して過ごせる環境の提供。 ・利用児や保護者との関係性が構築できている。 ・職員同士の情報共有がしっかりできている。	・不登校児の受け入れを行い、安心して学校生活に戻れるような支援を行っており、不登校の改善への実績がある。 ・児童や保護者とのコミュニケーションを大切にし、職員全員が寄り添う支援を行っている。 ・いつでも相談できる体制を整えている。	・引き続き児童が安心して過ごせる環境、保護者が安心して児童を送り出せる環境を提供する。 ・職員が働きやすい環境を作り、良いコンディションで児童や保護者に向かうことが出来るようにする。
2	・パソコンを身近に触れることの出来る環境がある。	・調べ学習や分からない課題をパソコンで検索できるようにしている。 ・自発性を大切にし、疑問や気になることを職員に尋ねるのではなく、自発的に調べらるようパソコンに触りたいときに触れるような環境を提供し探求心を育んでいる。	・パソコンの操作に特化した職員を配置し、児童の興味の幅を広げ、更なるスキルアップに繋げていけるようにする。
3	・クッキングや買い物学習、戸外活動等様々な経験を通して、社会性や自立に向けての力を養うことのできる活動を行っている。	・子供たちの自主性を大切にし、毎月こども会議を実施し会議の内容を生かした活動を取り入れるようにしている。活動に参加することだけが目的ではなく、今後の成長を見据えた支援内容になるよう意識して取り組んでいる。	・今後も児童の自主性を大切にし、児童から出た意見を活動に取り入れ、事業所での経験が将来へ生かせるような内容にしていく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の機会がない。	・日頃から保護者同士が顔を合わせる機会が少なく、保護者会や父母会等も設立していないため、保護者同士の交流が少ない。	・今後、保護者のつながりを持ちたいとの要望があれば、保護者会等のイベントを検討していく。
2	・パソコンの環境は整っているが、専門性のある職員がいない。	・日本情報処理検定協会にて検定に挑戦できる環境と検定料の補助制度も取り入れているが、指導できる職員がいないため児童の実力をうまく発揮させられず、タイピングのスキルでとどまっている状況である。	・パソコンの専門知識がある職員の入社を募集し、児童とともに現職員のスキルアップにもつなげていきたい。
3	・地域の子どもたちと交流ががが少ない。	・近所の公園や広場へ遊びに行くことがあり、時々稀に地域の子どもたちと遊んだりするが、意図的な交流ではない。	・地域の児童館や近隣の学童さんと交流できるよう活動を計画していく。また、地域の行事等にも積極的に参加していきたい。